

教科(科目)	情報 (情報Ⅰ)	単位数	2単位	年次	1年次
	必修	必修	総合選択	自由選択	
使用教科書	図説 情報Ⅰ (実教出版)				
副教材等	図説 情報Ⅰ 学習ノート (実教出版)、日本語ワープロ検定試験日本語ワープロ模擬問題集 3・4級編 (日本情報処理検定協会)、情報処理技能検定試験表計算模擬問題集 3・4級編 (日本情報処理検定協会)				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～ 卒業までにこのような資質・能力を育みます ～ ① 社会の価値創造に寄与できる力を育成します。 ② 自分の居場所に主体的に粘り強く関わろうとする態度を育成します。 ③ 自分と他者の人権を共に尊重する姿勢を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～ 上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います ～ ① 各教科・科目で習得した知識・技能を、他教科や他分野で活用するなど、教科横断的な教育活動を展開します。 ② 地域と連携する活動を教育課程に位置づけ、授業での学びが地域の充実に活かされるような授業を行います。 ③ 人文・自然科学系列、福祉・家庭系列、工業技術系列、ビジネス・情報系列の4系列を設置して、個別最適な学びを軸とした主体的な学習を進め、幅広い進路希望に対応します。 ④ 選択授業、少人数授業を数多く設定し、個性を生かした主体的な選択や実践的・体験的な学習を重視することで、生徒の適性や理解度に合わせた丁寧でわかりやすい授業を実施します。 ⑤ 一人ひとりの人権の尊重のもと、発達支持的生徒指導を軸に、みんなが安心して学べる場所にする風土づくりに取り組みます。

2 学習目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
- (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3 指導の重点

- ① 情報モラルの必要性や情報に対する責任について考えさせる。
- ② 情報活用の基礎となる情報手段の特性を理解させる。
- ③ 課題や目的に応じて情報手段を適切に活用させる。
- ④ 必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造させる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けている。	様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けている。	情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付けようとしている。

5 評価方法

評 価 方 法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期テスト、小テストなどから総合的に評価する。	課題の提出状況、実習への取り組み状況などから総合的に評価する。	授業態度、学習活動への参加状況、課題の提出状況 などから総合的に評価する。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規程は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	オリエンテーション	教科書 副教材 ワークシート PC	- コンピュータの起動や終了方法を習得する。コンピュータ教室でのマナーを理解する。 1年間の学習の流れを説明する。	6	・年間を通して定期テスト、提出物、出席、授業状況を考慮して評価します。
	1章 情報社会と問題解決		- 問題解決の意味を理解し、問題解決の流れを学ぶ。 - 個人情報やプライバシー、個人情報の保護や管理と関連権利（プライバシー権、肖像権、パブリシティ権）を学ぶ。 - 個人で行うセキュリティ対策である認証の概要を学ぶ。		
5	2章 コミュニケーションと情報デザイン		- メディアの機能と特性について学ぶ。 - コミュニケーションの定義、手段、形態について学ぶ。 - デザインの基本、色彩、ユニバーサルデザイン、アクセシビリティについて学ぶ。 - プレゼンテーションにおけるコンテンツの作成を学ぶ。	14	
6	1節 メディア				
	2節 コミュニケーション				
	3節 情報デザインと表現の工夫				
	4節 コンテンツの制作				
7	3章 情報とコンピュータ		- アナログ・デジタル・デジタルデータの特徴（情報の正確な再現・情報の容易な加工）について学ぶ。 - コンピュータ内部での数値（2進数、16進数）の表現について学ぶ。 - 身の回りの情報機器・IoTの事例について学ぶ。	14	
8	1節 情報の表し方				
9	2節 コンピュータでのデジタル表現				
	3節 情報機器とコンピュータ				
10	4章 アルゴリズムとプログラミング		- アルゴリズムの基本について学ぶ。 - 複数の画像を表示するプログラムを作る。 - 配列やリストを使って効率よく数値を処理できるプログラムを作る。	8	
	1節 アルゴリズムと基本構造				
	2節 プログラムの基礎				
	3節 プログラムの応用				
11	5章 モデル化とデータの活用		- モデル化の手順や分類について学ぶ。 - 図的モデルの表現方法を理解し、簡単な自動販売機の動作をモデル化する。 - シミュレーションの手順と注意点について学ぶ。 - 確定的モデルをシミュレーションするための手順について学ぶ。 - データの種類と、データの活用の手順や方法を学ぶ。 - データの尺度水準、ビッグデータとデータマイニングについて学ぶ。 - 散布図と箱ひげ図によるデータ分析の方法を学ぶ。	14	
12	1節 モデル化				
	2節 シミュレーション				
	3節 データの活用				
1	6章 ネットワークと情報システム		- インターネットに接続するための機器と通信の規則について学ぶ。 - Webページや電子メールの仕組みについて学ぶ。 - 生活に欠かせない情報システムについて学ぶ。 - 情報システム（POSシステム、トレーサビリティ）の仕組みと、データの流れについて学ぶ。 - データベースの機能と役割・活用事例について学ぶ。 - 情報の安全を守るために、組織が行っている情報セキュリティ対策について学ぶ。 - 暗号化の技術とデジタル署名について学ぶ。	14	
2	1節 ネットワークの仕組み				
3	2節 情報システムとサービス				
	3節 情報セキュリティ				
	・プレゼンテーション検定の実施				

計 70 時間（50 分授業）

7 課題・提出物等

- ・各月において、小テストや定期テストを実施し、範囲はその月に実施した内容になります。
- ・授業中、適宜課題を解く時間を設け、生徒が皆の前で説明する時間を取ります。

8 担当者からの一言

これからの社会においては、常に情報を取り扱う事が多くなり、それに対する各自の向き合い方も大切となります。本授業では、情報リテラシーも含め、これからの社会に必須となる要素を盛り込んだ授業を行います。